

下佐振興会の発足の経緯

1970年代後半を過ぎて、21世紀への声と共にコミュニティづくりが叫ばれ始め、各地でスポーツクラブの結成がみられ、職域を通して或いは学区の保護者を中心にしての野球、バレーボール、駅伝、テニス、ソフトボールなど町内での行事が計画され、参加者も徐々に増加し、下佐にもスポーツクラブが結成された。

昭和51(1976)年4月、下佐地域(小学校通学区)の文化活動の拠点であった旧船佐北小学校は、100年に及ぶ地域の初等教育の中心であり、住民の生涯学習の場でもあったが、時の流れに洩れず児童数の減少が予想され、廃校となり船佐小学校へ統合された。

時の流れとは言え、地域住民にとって小学校が無くなることは、文化の灯が消えることへの淋しさと、将来へ向かってそれまでの交流関係が薄れてゆくことの不安が重なり、何とかして小学校に変わる、下佐地域独自の交流拠点としての公民館を要望した。

その甲斐あって、昭和54(1979)年4月、旧中学校校舎を公民館として設立されることになり公民館を中心に、住民自治活動を展開するための準備会が結成され、集落の代表、団体代表、有志の方々による幾度かの合議を重ねた結果、親睦と連帯により地域に活力をと、「下佐親睦会」が発足した。また、秋にはコミュニティグラウンドに夜間照明設備も新設され、地域作りの基盤は確立された。

その後各地にコミュニティの輪が広がり、行事、中でもスポーツ関係は町単位で開催されるようになり、町内各地区(概ね大字単位)に振興会等の組織が設立され町連合体として発展していった。このような情勢の中で規約も整い、下佐地域内の各種団体代表、行政区班代表、女性会代表等、文字どおり地

域全体を網羅した地域活性化を願う住民による住民のための自治組織として、昭和57(1982)年7月「下佐親和会」と改めた。

当初は、基本的目標を親睦におき、新年互礼会や夏祭り、早起き清掃会等、全ての行事には全戸が参加するなど、全地域の連帯を深めることに重点を置いて活動した。その中でも、住民と行政との一体化を図るよう毎年の地域懇談会には、地域の要望課題を常会等で取りまとめて、地域と行政の役割分担により解決するよう努めている。

このように「和」を中心に活動して来たが時代の要請でもあり、更に飛躍して、地域活性化をより一層高めるため、総意により、地域環境を「守り」から、「攻め」の積極的な活動をする下佐地域に転ずるため、平成5(1993)年7月、社会参加型に名称を「下佐振興会」と再度改めた。

平成11(1999)年11月には、船佐北公民館も改築され、下佐コミュニティセンターと称して、今後地域の連帯をより深め、地域環境の美化や自治活動の新しい拠点として、面山源流高宮太鼓と共に、住み良い地域づくりを目指して活動中である。



昭和26(1951)年船佐中学校北分校として建築された校舎を、昭和54(1979)年から船佐北公民館として利用してきた。